

所属 外国語学部	職名 准教授	氏名 Edgar Franz	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 1) ドイツ語コース1 発音から基礎的な文法事項の指導、簡単な日常会話力の養成および向上のため、パワーポイントの利用および自作のビデオクリップの上映 評価の方法・基準： 出席、宿題、小テスト、定期試験、積極的な授業参加 2) ヨーロッパ文化論； 前期：1933 年から 2013 年までのドイツを中心としたヨーロッパの歴史と文化 後期：800 年から 1800 年までのドイツを中心としたヨーロッパの歴史と文化 パワーポイント、自作の専門家とのビデオインタビューの映写 評価の方法・基準： 出席状況、期末筆記試験の二点より評価		2016 年	1) ドイツ語コースでは単語力を向上させるため、パワーポイントを利用。教科書の語彙に関する写真を集め、覚えやすい教材作成。写真により、簡単な語彙であっても、ドイツの文化、社会、歴史と結びつけ、ドイツに対する理解を深めさせる。 自作のビデオクリップによる日本におけるドイツの足跡とドイツにおける日本の足跡を紹介。 例：年末、大阪・梅田で開催のドイツ・クリスマスマーケットで、ドイツ人店員とのクリスマス文化に関するインタビューの収録教材を、ドイツと日本の祭りや祭日についてのディスカッションのきっかけにする。 2) ヨーロッパの歴史と文化を講義する際、理解を深めるよう多くの自作の視聴覚資料を利用。専門家とのビデオインタビュー（例：大阪府・国立国際美術館の学芸員など）
2 作成した教科書、教材、参考書 Philipp Franz von Siebolds Beitrag zu den deutsch-japanischen Beziehungen (フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの日独関係への貢献)		2006 年 7 月	オンラインで教材を公開（サイト責任者：DAAD） http://www.deutsch-in-japan.de/lektorenfachseminar-2005/index.php
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			

教育専門セミナー（Lektorenfachseminar in Naruto）			2005 年 11 月	上記 2 の授業の進め方について発表。DAAD 開催（鳴門市）	
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
Japan and Europe, Historical Relations and Comparative Studies（日欧交流比較研究） Philipp Franz von Siebold and Russian Policy and Action on Opening Japan to the West in the Middle of the Nineteenth Century	単	2005 年 8 月	Iudicium 出版社（ドイツ・ミュンヘン）		1～237 ページ
訳書					
100 のトピックで知るドイツ歴史図鑑	共	2012 年 2 月	株式会社原書房		1～295 ページ
ズザンネ・ブッデンベルク、トーマス・ヘンゼラー『ベルリン、分断された都市』	共	2013 年 9 月	彩流社		1～96 ページ
論文					
Deutsche Mediziner in Japan – Ein Beitrag zum Wissenstransfer in der Edo-Zeit	単	2005 年 12 月	Japanstudien・Jahrbuch des Deutschen Instituts für Japanstudien: Deutschland in Japan, Vol. 17、Iudicium 出版社、ドイツ・ミュンヘン		31～56 ページ
Der Bildhauer Wilhelm Lehmbruck und Japan	単	2006 年 12 月	OAG – Notizen Vol. 12, 東京		32～37 ページ
Philipp Franz von Siebold und die Öffnung Japans	単	2007 年 10 月	OAG – Notizen Vol. 12, 東京		34～41 ページ
Siebold's Involvement in the Friendship Treaty between Japan and Russia	単	2008 年 4 月	Ritsumeikan International Affairs Vol. 6, 京都、立命館大		99～125 ページ
17 世紀と 18 世紀の日本におけるドイツからの	単	2009 年 9 月	神戸外大論叢、第 60 巻、第 2 号、		21～44 ページ

知識移転			神戸市外国語大学研究会		
山本有三、ベルトルト・ブレヒトと下田のユディト	単	2013 年 3 月	神戸外大論叢、第 63 巻、第 2 号、 神戸市外国語大学研究会		127～139 ページ
芸術家集団「青騎士」の共同設立者フランツ・マルクの日本美術から受けた影響	単	2014 年 3 月	神戸外大論叢、第 64 巻、第 3 号、 神戸市外国語大学研究会		87～98 ページ
ドイツ表現主義の画家アウグスト・マッケが日本美術から受けた影響	単	2015 年 3 月	神戸外大論叢、第 65 巻、第 1 号、 神戸市外国語大学研究会		57～65 ページ
エッセー					
Studienreise nach Deutschland – Interkulturelles Management	単	2009 年 4 月	Lektorenrundbrief, No. 34		5～7 ページ
東ドイツと日本（訳者あとがき）	単	2013 年 9 月	ズザンネ・ブッデンベルク、トーマス・ヘンゼラー 『ベルリン、分断された都市』彩流社		93～95 ページ
Bericht: Neue Erkenntnisse der Siebold-Forschung – Die 10. International Siebold Collection Conference	単	2016 年 12 月	OAG Notizen, Vol. 12, 東京		39～42 ページ
書評					
シーボルト日記 全一卷再来日時の幕末見聞記 （石山・幸一訳、400 ページ）	単	2006 年 3 月	OAG – Notizen Vol. 3、東京		25～26 ページ
Herbert Plutschow: Philipp Franz von Siebold and the Opening of Japan – A Re-evaluation, Global Oriental, Folkestone/Kent 2007, 228 ページ	単	2008 年 1 月	OAG – Notizen Vol. 1、東京		27～29 ページ
Barbara Haschke, Gothild Thomas: Kleines Lexikon Deutscher Wörter Japanischer Herkunft, ミュンヘン 2008 年	単	2008 年 11 月	OAG – Notizen Vol. 11, 東京		46～48 ページ
Katrin Dohlus: Phonologische Angleichung deutscher Lehnwörter im Japanischen. Warum aus Arbeit baito wird, 2009 年	単	2009 年 9 月	OAG – Notizen Vol. 9, 東京		48～49 ページ
Jürgen Lehmann: 100 Jahre Deutsche Schule Kobe 1909 bis 2009, 2009 年	単	2009 年 10 月	OAG – Notizen Vol. 12, 東京		42～43 ページ

Jürgen Stalph, Irmela Hijiya-Kirschnerreit, Wolfgang E. Schlecht, Koji Ueda (ed.): Großes Japanisch-Deutsches Wörterbuch, Band 1, A-J, ミュンヘン 2009 年	単	2010 年 5 月	Lektorenrundbrief, No. 37, 東京		14～15 ページ
Maren Godzig (ed.): „Altern in Japan. Jahrbuch des Deutschen Instituts für Japanstudien, Band 21、ミュンヘン 2009 年	単	2010 年 9 月	OAG-Notizen Vol. 9, 東京		43～44 ページ
Andreas Mettenleiter: Academia Sieboldiana. Eine Würzburger Familie schreibt Medizingeschichte, Akamedon, Pfaffenhofen, 2010 年	単	2011 年 2 月	OAG –Notizen Vol. 2, 東京		27～28 ページ
Frieder Hepp (ed.): Kirschblütenträume. Japans Einfluss auf die Kunst der Moderne, 2012 年	単	2013 年 5 月	OAG –Notizen Vol. 5, 東京		30～31 ページ
Atsushi Kataoka, Regine Matthias, Pia-Tomoko Meid, Werner Pascha, Shingo Shimada (eds.): Japanische Bergleute im Ruhrgebiet, 2012 年	単	2013 年 9 月	OAG –Notizen Vol. 9, 東京		52～53 ページ
Christian Heideck: Ost-West-Handel und Opposition. Die Japanpolitik der DDR 1952-1973, Iudicium, München, 2014 年	単	2015 年 6 月	OAG –Notizen Vol. 6, 東京		31～33 ページ
Hans-Joachim Bieber: SS und Samurai. Deutsch-japanische Kulturbeziehungen 1933 – 1945. Monographien aus dem Deutschen Institut für Japanstudien, Band 55, Iudicium, München, 2014 年	単	2015 年 9 月	OAG –Notizen Vol. 9, 東京		54～55 ページ
Walter Rupprechter (2015): Passagen. Studien zum Kulturaustausch zwischen Japan und dem Westen. Iudicium, München		2016 年 6 月	OAG –Notizen Vol. 6, 東京		30～31 ページ
Jürgen Stalph, Irmela Hijiya-Kirschnerreit, Wolfgang E. Schlecht, Kōji Ueda (eds.) (2015): Großes Japanisch-Deutsches Wörterbuch,		2016 年 8 月	Lektorenrundbrief No. 45, 東京		10 ページ

Band 2, J–N, Iudicium, München					
Markus Mergenthaler (ed.) (2016): Siebolds Netsuke, Verlag J.H. Röhl GmbH, Dettelbach		2016 年 10 月	OAG–NotizenVol. 10, 東京		33～34 ページ
Hideaki Yasuda (ed.) (2016): Revisiting Siebold's Japan Museum, Seigensha Art Publishing, Tokyo		2017 年 2 月	OAG–NotizenVol. 2, 東京		56～57 ページ
講演					
Philipp Franz von Siebold und die Öffnung Japans	単	2006 年 3 月	OAG シーボルトシンポジウム		
“Study trip to Germany 2008 – German dialogues of students with managers and people in daily situations“	単	2008 年 10 月	OAG 神戸		
“Study trip to Germany 2009 – Management for the Future”	単	2009 年 12 月	OAG 神戸		
ローベルト・シューマンの生誕 200 周年	単	2010 年 3 月	兵庫県立国際高校		
ドイツ現代美術	単	2010 年 3 月	神戸国際コミュニティセンター		
Die Filme „Erleuchtung garantiert (MON-ZEN)“, „Der Fischer und seine Frau“ und „Hanami“ in Japan. Einsatzmöglichkeiten der Filme im Deutschunterricht oder in Vorlesungen.	単	2013 年 11 月	ドーリス・デリエ in 沖縄 — DAAD 教員研修ゼミナール、琉球大学、沖縄		
Model of a Study Trip to Germany for University Students	単	2016 年 12 月	Ritsumeikan University, Osaka Ibaraki Campus, Room C373 “Learning Theater”		
III 学会等および社会における主な活動					
2005 年 4 月～現在	OAG - Deutsche Gesellschaft für Natur-und Völkerkunde Ostasiens - ドイツ東洋文化研究協会会員				
2005 年 10 月～現在	JGG - Japanische Gesellschaft für Germanistik - 日本独文学会会員				
2005 年 10 月～現在	JALT - Japanese Association for Language Teaching 全国語学教育学会会員				

